

第 1 セッション

「留学生 30 万人計画」の実現に向けて（論点メモ）

1. 「留学生 30 万人計画」の戦略的課題

- ① 大学院・学部の国際化方策（グランドデザインの策定）
 - 大学院生・学部生の割合を 3 : 7 から 5 : 5 にする
 - 学部学生の短期（6 カ月～1 年）交換留学の推進
 - ⇒日本の留学生も増やす
- ② 質の高い留学生を受入れる先進的な重点大学を 30 形成し、重点的支援を行う
重点大学では、
 - ・ 留学生を学生数の 20% 以上にする
 - ・ 特定学部での外国人教員 3 割採用を目指す
 - ・ 大学全体での英語授業の割合を 3 割にする
- ③ 留学生向け就職支援の充実—目標：卒業者の 5 割の国内就職—
 - ・ 情報マッチングの場の提供（就職フェアの開催）
 - ・ 就職希望者への支援
 - 大学：留学生向け就職ガイダンス
 - 企業：留学生のキャリアプログラムの開発
 - ・ 卒業後の在留期間更新タイミングの延長

2. 世界各国より優秀な留学生を惹き付けるための取組

- ① 海外での情報提供・支援体制の充実
 - ・ 渡日前の選考・入学許可及び奨学金支給の決定
 - ・ 入国審査の迅速化
- ② 奨学金制度の拡充、国費留学生制度の見直し（私立大学や大学院への配置増）
- ③ 留学生の日本における生活環境の整備（宿舍の提供等）
- ④ 9 月入学の大幅促進など大学における組織的な留学生受け入れ体制の整備支援